# とちぎ夢大地応援団活動報告（９月２５日実施）

## '１１夢大地グランドワーク in 土呂部

## 日光市土呂部地区「刈原（かっぱ）の刈り払いとボッチの作成」

土呂部集落の入り口に広がる山の斜面（刈原）は、昔から牛の敷き料の採草地として利用されてきました。ススキ等の草を刈り払った後、結束して円錐形に積み上げて「ボッチ」をつくり草を乾燥させます。この景色は「とちぎ田園風景百選」のひとつにも選ばれましたが、担い手の高齢化に伴い維持管理が困難になってきています。

今回の活動は、日光市と新潟県妙高市の両社会福祉協議会が行う「ユース協働プロジェクト」に参加する学生１６名・関係者との一緒の作業でした。

当日は遠くは足利市からなどの夢大地応援団員６名、メダカ里親の会員６名、宇都宮大学教官・学生３名の計１５名の参加がありました。

公民館で開会式後、刈原に移動してはじめに草刈りを行いました。約１時間後、刈り取った草を束ねる段階から学生が参加、全員でボッチづくりを行い、１２時までの２時間の作業で予定した作業が終了しました。

自治会長の歓迎のあいさつ

参加者

はじめに草刈り

刈原の草刈り

一列に揃えるのがコツ（束ね易い）

途中の休憩　バナナの差し入れがありました

次の作業は　草束づくり

最後はボッチづくり

草束5～6束でボッチをつくる

きれいに出来上がった ボッチ

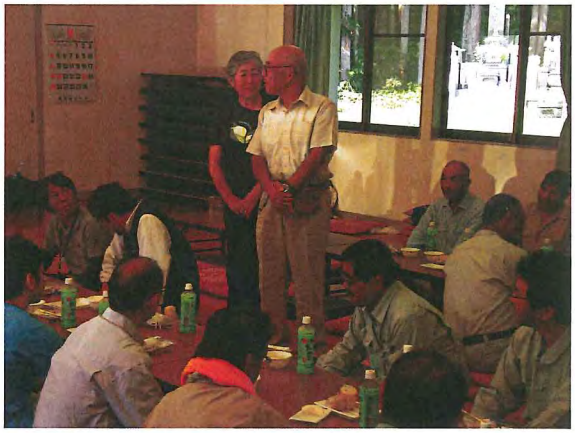
作業終了後　全員で記念写真

昼食・交流会

昼食は、おにぎりや土呂部産のイワナの天ぷら、ワラビ等をいただきました。特に伝統食の「ばんだいもち」は豊富なきのこ等を使った具沢山の料理で、土呂部の味を堪能させていただきました。

昼食後は、地元の方から獅子舞や鳥獣害の紹介受け、参加者からは参加の動機や作業の感想などを発表していただき、交流を含めました。

まごころいっぱいの昼食



3時間かけて足利から参加の田口さん

バナナごちそう様でした　植木さん

妙高から参加の学生

おいしい昼食を作っていただいた方々

夢大地応援団・メダカ里親の会・宇都宮大学の皆さん、ご苦労さまでした。

土呂部の皆さん　ごちそうさまでした。